

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成24年6月14日 (19:00~20:00)		
実施場所	山谷集会所	参加人数	10人
参加対象	吉田地区振興会		
市側の出席者	市長		
懇談内容	<p>防災安全課主任、税務課主査</p> <p>【懇談要旨】</p> <p>1. 発言者</p> <p>・市道稲葉高城沢線・浅河原新町新田線の交差点の信号機の設置を何年も前から要望している。ついこの前も死亡事故があった。信号機の設置に向けて、市長からもお口添えいただきたい。</p> <p>A. 関口市長</p> <p>・確かに見づらいと思う。現地を確認して対応したい。</p> <p>2. 発言者</p> <p>① 災害は原形復旧しかできないが、もしも時間121^ミ以上の雨が降った場合にどうするのか。原形復旧ではなく、側溝幅の規格をひとつ上のものに改良できないか。</p> <p>② 子育てについて、小中一貫の9年ではなく幼保を含めた12年が適切でないかと考えている。中1ギャップ対策など若いお母さん方が何でも相談できる子育て支援体制づくりをお願いしたい。</p> <p>A. 関口市長</p> <p>① おっしゃるとおりで、災害復旧というのは原形復旧が原則である。70年確率で河川整備をすると良く言われる。無限に備えれば一番いい訳だが、どこかで一線を描さなければいけない。どこで納得するか、孫子のためにどこまでやっておくか、難しいところだと思う。</p> <p>私は山林をもっと手入れしなければならないと考えており、緊急雇用のための国からのお金を、森林整備のために活用している。</p> <p>② 長岡や三条市では、子育て支援を生まれたときから二十歳まで一貫してやっている。当市では、担当が最初は福祉、次に教育委員会になり、また福祉に戻ったりしている。支援を途切れさせず、ずっとやっているように考えている。</p>		

3. 発言者

- ①山谷集会所は緊急避難所に指定されており、集落で維持管理を行っている。建築から30年が経過しているが、災害等により壊れた場合は誰が修繕するのか。
- ②集落も高齢化し、集落費も少なくなっており、維持管理費のねん出が困難になってきている。大規模改修のときは何か補助事業はないか。

A. 関口市長

- ・施設の成り立ちにもよるが、市内には大規模な改修は市が行い、比較的小規模な改修は地元から負担していただいている集落がある。今年度より市から直接、地区に対して支払うお金もあるが、屋根の葺き直しなど大規模な改修については、市に相談いただきたい。

4. 発言者

- ①昨年の豪雨災害では河川上流から流下する流木等が橋梁にひっかかり、河川を閉塞し、道路を流下し住家の浸水被害が拡大した。水害の応急対策として橋梁に設置されている欄干を外して、橋梁上に導水する等の対策をご検討いただけないか。
- ②農業災害にかかる復旧工事はどのくらいの件数あるのか。

A. 関口市長

- ①昔のように橋梁を木橋として水害時には流す方策もあるが、夏には必ず1回はある程度の大水が出るものとして、備えておかなければならないと考えている。
- ②40万円以下の小規模災害を含めて、6,500件ほどとなっている。柏崎、富山、福井等からお手伝いをいただいております、一刻も早い災害復旧に最善を尽くしている。